



近畿で3議席まもる

得票のばし善戦・健闘



当選万歳をする3衆院議員
(左から)吉井英勝、こくた恵二、宮本たけし3衆院議員と山下よしき参院議員(8月31日未明)

日本共産党は、比例代表(全国)で494万3,886票(得票率7.03%)を獲得し、現有9議席を確保しました。投票率が前回から1.77%上昇するなかで得票率は前回(7.25%)を下回りましたが、得票は2万4,699票増えました。

比例代表近畿ブロック(定数29)では、2府4県(大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山)合計で、前

回を1万5,494票上回る106万7,443票(得票率9.6%)を獲得し、現有3議席を確保しました。前職のこくた恵二さん、吉井英勝さんとともに、石井郁子さんの後を継いで宮本たけしさん(元参院議員)が新たに衆議院で働かせていただくことになりました。近畿の願いを届け、暮らし・平和を守る仕事へ一層がんばります。

近畿の願い届けてがんばります 日本共産党の3衆院議員

こくた恵二さん(62)



6期目の当選。党国会対策委員長を12年間務めてきた国会議員団の大黒柱。野党国会対策委員長会談で、後期高齢者医療制度廃止法案の共同提案を繰り返し主張し、参院決法の原動力になりました。

吉井英勝さん(66)



衆院7期目の当選。宇宙軍拡から中小企業問題まで自公の悪政を追及。07年、週刊誌に「国会一の働きマン」と評されました。経済・環境・原発・エネルギーの専門家。大阪府議、参院議員など歴任。

宮本たけしさん(49)



衆院初当選。参院議員だった03年、サラ金最大手と警察の癒着を明らかにした「富士土問題」を追及し、それをきっかけに「グレーゾーン金利」廃止の法改正につながりました。参院議員1期。

比例近畿ブロックの選挙結果

	当選者数	得票合計	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山
民主	11	4,733,415 (42.41)	1,931,431 (41.66)	1,280,360 (43.08)	587,742 (42.02)	340,334 (44.62)	350,042 (43.71)	243,506 (41.26)
自民	9	2,592,451 (23.23)	994,098 (21.44)	698,011 (23.48)	323,295 (23.11)	210,628 (27.61)	213,092 (26.61)	153,327 (25.98)
公明	5	1,449,170 (12.98)	704,839 (15.20)	364,853 (12.27)	142,636 (10.20)	59,471 (7.80)	84,958 (10.61)	92,413 (15.66)
共産	3	1,067,443 (9.56)	468,144 (10.10)	231,680 (7.79)	195,161 (13.95)	67,402 (8.84)	62,205 (7.77)	42,851 (7.26)
社民	1	411,092 (3.68)	150,663 (3.25)	135,987 (4.58)	49,740 (3.56)	27,105 (3.55)	30,696 (3.83)	16,901 (2.86)
みんな	0	465,591 (4.17)	205,421 (4.43)	124,641 (4.19)	53,635 (3.83)	30,868 (4.05)	32,038 (4.00)	18,988 (3.22)
国民	0	169,380 (1.52)	60,137 (1.30)	55,526 (1.87)	18,342 (1.31)	11,306 (1.48)	11,730 (1.46)	12,339 (2.09)
合計	29	11,160,920	4,636,015	2,972,375	1,398,710	762,794	800,897	590,129

(カッコ内は得票率。日本改革、幸福は略)

自民 第1党失い119議席 近畿でも141万票減

自民党は、保守合同で結党(1955年)して以来占めていた第1党の座を失い、比例55、小選挙区64の計119議席。公示前の300議席から181も失い、得票数も前回の2,589万票から708万票も減りました。近畿では比例・小選挙区合計で45議席から14に激減、得票は141万票減(前回比64.8%)の大幅後退。自公政権退場の明確な審判が下されました。

公明 小選挙区で全減 近畿は5議席に半減

同じ与党である公明党は、小選挙区8つ(近畿は6つ)すべてで落選。党首の太田宏代表(東京12区)のほか、近畿の北側一雄幹事長(大阪16区)、冬柴鉄三前幹事長(兵庫8区)など幹部が相次いで議席を失いました。得票は過去最高(899万票)の前回を94万票も下回る805万票でした。近畿では議席が10から5に半減。得票は17万7千票減(前回比89.1%)と大幅後退でした。

民主 小選挙区で圧勝 近畿の議席は3倍超に

民主党は、公示前に比べ193議席増やし、衆院の過半数を大きく超える308議席(比例87議席、小選挙区221議席)。小選挙区は全国定数(300)の7割以上の圧勝でした。近畿では比例・小選挙区合計は52議席で、前回(17議席)の3倍以上。比例得票は前回の316万票(29.0%)から473万票(得票率42.4%)と大幅に増やしました。

社民 近畿の比例、3分の2に大幅減

社民党は、比例で前回の372万から71万票減の301万票。比例議席は2減の2議席。小選挙区では民主党との選挙協力で2議席増の3議席を獲得、全体の議席は前回と同じでした。近畿でも比例、選挙区で各1議席獲得したものの、比例得票は前回の62万票から41万票へ大幅減(前回比66.3%)でした。

◆
みんなの党は近畿比例票が社民党を上回り、1議席分の得票(46万5千票)を得たものの、名簿記載の候補者が小選挙区で得票率10%を得られなかったため議席ゼロとなりました。